



糸魚川世界ジオパーク再認定記念フォーラム 2013



ジオ女子たちのワールドワイドな



ぬーな

ジオ端トーク



ジオまる

～ジオパークと自然公園の楽しみ方～

13:30
～
15:00

2013年 **12**月**14**日(土)

会場 ヒスイ王国館

報告書



糸魚川ジオパーク協議会

日 程

学びの会場 (万葉)

13:30 ~ 15:00
 ● パネルディスカッション

食の会場 (まが玉)

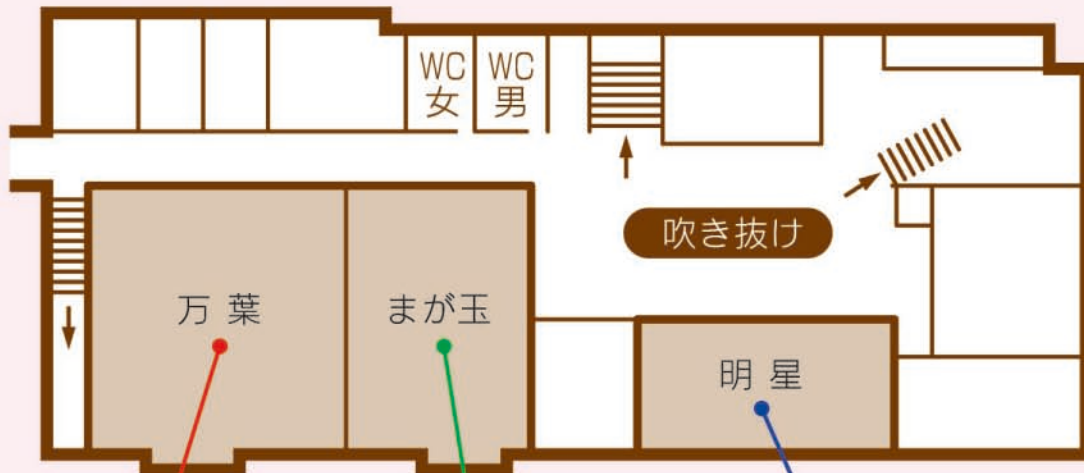
12:00 ~ 13:30
 ● THE おいしい朝ごはん
 ジオ給食試食会

遊びの会場 (明星)

10:00 ~ 15:00
 ● ものづくり体験のひろば
 ● 石から絵の具を作ろう ● 砂を観察しよう
 ● カラー砂で地層を作ろう

時間	学びの会場 万葉	食の会場 まが玉	遊びの会場 明星
10:00			ものづくり体験のひろば ● 石から絵の具を作ろう ● 砂を観察しよう ● カラー砂で地層を作ろう
11:00			
12:00		ジ オ THE おいしい朝ごはん ジオ給食試食会 12:00~13:30	
13:00			
13:30	パネルディスカッション 13:30~15:00		
14:00			
14:30			
15:00			

会 場 【ヒスイ王国館 2階】



■ 会長あいさつ 糸魚川ジオパーク協議会会長(糸魚川市長) 米田 徹

本日は、糸魚川世界ジオパーク再認定記念フォーラム 2013に参加いただき、ありがとうございます。

2009年に世界ジオパークに認定されてから4年が経過し、再認定審査を受けて、このたびグリーンカードをいただいたところであります。

平成20年には7地域だった日本ジオパークも、現在は32地域あり、そのうち6地域が世界ジオパークに認定されております。また、ジオパークを目指している地域も17地域あり、地域振興の活用に向けて、大きな広がりを見せております。

今回のフォーラムでは、環境省との共催によるパネルディスカッション「ジオ女子たちのワールドワイドなジオ端

トーク」のほか、「ジオ給食の試食会」や「ものづくり体験のひろば」などを開催し、ジオパークをより多くの皆さまから楽しんでいただきたいと思います。

最後になりますが、今後ともジオパーク活動を広めたいと考えておりますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。開会のご挨拶とさせていただきます。



■ パネルディスカッション



コーディネーター
伊藤 聡子 さん
(糸魚川ジオパーク大使)

新潟県糸魚川市出身。新潟県立新潟高校卒業、大学在学中に関口宏のサンデーモーニング(TBS系)でデビュー。ベストタイム(TBS系)・スーパーモーニング(テレビ朝日系)・アクセス(TBSラジオ)などの番組のキャスターとして活躍。『地域経済の活性化が日本の元気を取り戻す鍵』を著し、日本の地域おこしに力を注いでいる。2010年に事業創造大学院大学(新潟県)客員教授就任。



パネリスト
ニコラ・ジョーンズ さん
(隠岐ジオパークガイド)

ニュージーランド出身で、島根県西ノ島町観光協会の職員。隠岐ジオパークのビュースポットを紹介する「ふるさと案内人」も務める。

※ニコラさんは天候悪化のため当日ご欠席されました。



パネリスト
速水 香奈 さん
(環境省自然環境局国立公園課)

平成18年環境省入省。九州地方環境事務所国立公園・保全整備課、片品自然保護官事務所(尾瀬国立公園担当)配属等を経て、現在、本省自然環境局国立公園課事業係長。公園事業、国立公園の協働型管理、ジオパーク等に関わる業務を担当。



パネリスト
都竹 尚美 さん
(株式会社学研教育出版)

株式会社学研教育出版教育ソリューション事業部勤務。子どもたちへの教育プロデュースを担当。昨年度は「いといがわブチ散策マップ」を作成。



パネリスト
鳥越 寛子 さん
(糸魚川ジオパーク協議会)

糸魚川市交流観光課ジオパーク推進室(糸魚川ジオパーク協議会)勤務。糸魚川の山々に魅力を感じ、滋賀県からこの糸魚川へ移住し、糸魚川市役所へ入庁。

1. 自己紹介

【伊藤】私は糸魚川出身で、10歳までこちらにありました。糸魚川ジオパークが世界的にも知られるようになり、改めてこの糸魚川の奥深さ、神秘さに本当に魅せられます。

【速水】私は奈良県の出身です。今日、長者ヶ原考古館で奈良の大和朝廷が糸魚川のヒスイづくりをやめさせたという話を聞いたのですが、その奈良で、小さい頃から古墳などを里山歩きのように親と一緒に歩いていました。糸魚川に来たのは初めてです。国立公園の活性化を考える中でジオパークから学ぶことが多く、ぜひ来てみたいと思っていました。親不知は0mから山に登れるため登山家には有名です。いつか歩いてみたいかと、心を新たにしているところです。

【都竹】私は岐阜県・高山市の出身です。山に囲まれた盆地で育ったため海へのあこがれが強かったのですが、ある時、友人と一緒に、山梨県にある瑞牆山に登る機会がありました。景色にも感動しましたが、「みずがき」という名前の響きがすてきだなと思い、それからは景色と名前を求めて山に登るようになりました。糸魚川の雨飾山も名前が心に響き、昨年の秋に登りました。その時の写真なのですが、細い登山道に人が行列を作っているのを見て、魅力のある山なんだなと思いました。



洪滞する雨飾山

【鳥越】私は滋賀県の出身で、糸魚川に来たのはおよそ



7年前です。もともと林業の仕事に就きたいと思って、こちらに来ました。その後、チャンスが巡ってきてジオパークの仕事に携わっています。

【ニコラさんビデオメッセージ】私はニュージーランドの出身で、8年前に国際交流員として初めて島根県に来ました。隠岐にもよく遊びに来ていました。その後、隠岐の人と縁があって、西ノ島に引っ越して3年目です。隠岐は地球のパワーを感じることができる場所で、私は隠岐の自然と文化と人が大好きです。皆さんと隠岐を観光することができたら、とてもうれしいです。



2.2つの国立公園

【伊藤】鳥越さんは、糸魚川の何が魅力ですか。

【鳥越】山がいいですね。私は山登りをしたことがありませんでしたが、糸魚川に来てから地元の方に誘われるようになり、次第にのめり込んでいきました。雨飾山はもうホームの山です。

【伊藤】雨飾山がすごく人気ですが、何がそんなに魅力なのかを教えてくださいませんか。



雨飾山の山頂

【鳥越】私は形だと思えます。糸魚川側から見ると、猫の耳みたいに頂が2つあります。また、周りに高い山がないので、かっこよく見えます。

【都竹】登山口にある温泉がいいですね。男女混浴で、私はシャイだったので入れませんでした。あと、頂上に登る前にある小高いところを頂上から見下ろすと……。

【鳥越】奴奈川姫の横顔に見えます。笹平というところなのですが、そこに通された登山道が、きれいな女性の横顔の形になっています。

【伊藤】速水さんは国立公園をいろいろとご存知だと思いますが、糸魚川の山の特徴は何かありますか？

【速水】北アルプスは地面が隆起した山麓で、上のほうが石です。雨飾山は上のほうまで森林があって、火打山や妙高山など火山があるというのが、ほかのところと

は違います。

【伊藤】では構造線をはさんで山の性質も違ってくと。

【鳥越】そうですね。フォッサマグナを境に西（北アルプス側）は土地自体がとても古いので山が安定していますが、東（雨飾山側）はまだできて時間が経っていないので、非常にやわらかくくずれやすいという特徴があります。

【伊藤】東は肥沃な土地で、植物を観察する点ではおもしろかったりするのでしょうか。

【速水】西側の北アルプスは可憐な高山植物が魅力で、蓮華温泉のあたりは中部山岳国立公園になっています。東側の山は木がすばらしく、雨飾山は紅葉がきれいです。雨飾山の周辺は、上信越高原国立公園です。特徴を2つ持っているというのも糸魚川のすばらしさだと思います。

3. 日本列島の境目を目の当たりにして…

【伊藤】昨日、親不知やフォッサマグナミュージアムにみんなで行ってきたのですが、皆さん感想はどうですか。

【都竹】親不知で思い出したのが、中学生の時の合唱コンクールの課題曲が「親知らず子知らず」という曲でした。「波が来て子をさらっていく、子を呼ぶ母のすすり泣きが聞こえるか」という悲しい曲です。担任の先生が、心を込めて歌えるようにと親不知をビデオで撮ってきてくれて、見事金賞をとったという思い出があります。



親不知の断崖

【速水】海の近くで、あのように山が入っているというのは珍しいですね。屋久島も少し似ているのですが、ほかにはあまりないと思います。

【伊藤】親不知は海に潜ると、地上と同じような形で崖が落ちているそうです。海の中の景色もすごくダイナミックだと思うので、私はダイビングポイントとして売り出すべきなんじゃないかなと思います。

ところで地形の話が出ましたが、プレートの境目が見られるのは全国でここしかないというのも売りですよ。

【鳥越】そうですね。こちらはフォッサマグナパークの画像です。

【伊藤】右と左で地層が違うのが一目瞭然ですね。

【鳥越】(写真の)子どもが指をさしているところが断層破砕帯というところ

です。断層というのは地面が何万回と擦れ合ってどんどん細かくなって



フォッサマグナパークの断層



いて、その細かくなった部分が出ているのが、そこだそうです。

【伊藤】 ちなみに、この境界線上にある渡辺酒造さんは、西側の古いほうの地層から採った水を使っているそうです。糸魚川には5か所の酒蔵があるのですが、どこかの地層から出ている水を使うかで味が違うという、日本酒マニアにはたまらない場所なんですね。

ところで、フォッサマグナミュージアムでは何が一番印象的でしたか？

【都竹】 ヒスイの種類が多さも驚いたのですが、私はノウマン先生と森鷗外の論争が一番気になりました。

【伊藤】 すごくマニアックなところ（笑）。フォッサマグナミュージアムは、「地球を形成しているものはこんないろいろなものがあるんだ」ということを知ることができま。身近に「地球って何だろう」を感じられ、毎回新鮮な発見がある、大好きな場所です。

4. ヒスイの持つチカラ

【伊藤】 この地形だからこそ成り立っている文化や食につながるから、ジオパークはおもしろいんですね。

【鳥越】 そうですね。境界で私がイメージするのが、糸魚川-静岡構造線に沿ってできた塩の道です。塩を運ぶ人が目印にしていた「大ザイの神」という大きな木や、随所にお地蔵さまが残っているなど、文化が色濃く残っています。

【伊藤】 あれは自然にできたくほみを利用したのですか？

【鳥越】 そうらしいです。断層で大地が弱くなっていて、そこに道がつきやすく、姫川という氾濫する川よりも少し高いところにあつたので、安全性の面からも合致していたそうです。

【伊藤】 塩の道があるから、山のものがかつちに来る、海のはむこうに行く、糸魚川はそういう交流の場所になっていたといえますよね。

【鳥越】 ヒスイの加工品を作っていた縄文時代から、糸魚川は全国の流通網の拠点になっていたみたいですね。

【伊藤】 糸魚川のヒスイが、青森、北海道、九州、そして韓国まで行っているということです。縄文時代はヒスイを目指して、多くの人々が来ていたんでしょうね。

【鳥越】 ヒスイの神秘的な魅力もそうですが、権力を表していたということ、その力を求めて糸魚川に文化も人も集中していたのかなと。

【伊藤】 ヒスイはご覧になっていかがでしたか？

【速水】 ヒスイ文化は日本の文化というよりもシルクロードのイメージがあつたのですが、実は昔からの日本固有



長者ヶ原遺跡から出土したヒスイ製大珠

の文化だということを知って、すごくおもしろいなと思いました。

【都竹】 緑色のものが私の知っているヒスイだったので、いろんな色があることを知りました。

【伊藤】 各地で見つかったヒスイは糸魚川産だろうということですが、それだけ全国に広がるということは、ヒスイはパワーストーンのようなものなのでしょう。

【鳥越】 おそらく。だからでしょうか、糸魚川の方はみんなヒスイを持っていますね。パワーの話といえば、糸魚川は今、パワースポットとして注目を集めています。実は伊藤さんに、奴奈川神社を巡れば縁ができるという話を聞いて、お参りをしてきました。

【伊藤】 私も今年、初めて糸魚川の友だちから聞いたのですが、天津神社にある奴奈川神社、田伏の奴奈川神社、能生の白山神社を巡ると良縁に恵まれるという……。縁というのは男女の縁だけではなくて、仕事の縁もあるし、世の中はすべて縁ですから、それで売り出すのはいいと思います。

5. 糸魚川の温泉めぐり

【伊藤】 女性はパワースポットと、あと温泉が大好きですから、この2つをセットにするのはすごく大事ですよ。糸魚川は温泉が何箇所もあるのですが、すべて泉質が違います。どこが一番好きですか？

【鳥越】 私はやはり塩の道温泉です。お肌がすべすべになる美人の湯なんです。

【伊藤】 私は笹倉温泉。笹倉温泉もすごく不思議で、すぐ横にまた別の温泉がありますが、泉質が違うんですね。糸魚川の温泉で気になるところはありますか？

【速水】 ダントツに蓮華温泉ですね。標高が高いところにある温泉ということなので、ぜひ行ってみたいですね。

【鳥越】 蓮華温泉は、糸魚川市内から車で1時間半前後で行けます。山小屋から10分ほど登ると、温泉が3~4つあります。そこも泉質がそれ



蓮華温泉 仙気ノ湯

ぞれ微妙に異なっていて、乳白色だったり、深い緑色だったり、透きとおった温泉であつたり。

【伊藤】 不思議ですね。これは裸で入るんですか？

【鳥越】 そうですね（笑）。

【都竹】 シヤイガール代表の私としては、ちょっと入りづらいですね（笑）。

【都竹】 山の温泉を目指して来る女性の方は多いと思います。女性用の建物がある温泉もありますので……。



山に登る方々にとっては温泉もセットなので、こういう付加価値的な、標高の高いところにある温泉は人気なんじゃないかなと思います。

【伊藤】これはやはり女子も入れるような環境を作ってもらわないと。

雨飾山の入口にもあるんですか？

【鳥越】雨飾温泉「都忘れの湯」という名前ですね。



6. 親切的な糸魚川の人たち

【伊藤】資源はたくさんあるので、そこをいかに女性向けに宣伝していただくか、開発の余地はまだたくさんありますね。訪れた方へのおもてなしは、やはり市民の皆さんの力でということになりますよね。

【鳥越】おもてなしと聞くと、ちょっと身構えてしまうのですが、糸魚川の方はもともととても親切だと思うんです。私が糸魚川に住むようになったのも、地元の方がいい人ばかりだったことが大きいです。

【伊藤】糸魚川に家を建てたそうですね。

【鳥越】そうなんです。山のそばに住んでいるのですが、その皆さんの本当にいい人で。なので、皆さん構えないで、そのまま出迎えてもらったら、それでパッチリじゃないかなと。

【都竹】私が雨飾山に登った時、スーパーの店員さんが親切にいろいろ教えてくださったんですね。市内を観光した時も、ガイドの方が丁寧に話をしてくださって、なんてみんなやさしいんだろうと思いました。

【速水】登山や旅行で記憶に残るのは、やはり人とのふれあいだと思います。環境省が進めているロングトレイルも、地元の皆さんにボランティアでトレイルに関わっていただきおもてなしをしようという、そういう自然の楽しみ方を目指そうという話もあります。山小屋の主人は個性豊かな人が多いのですが（笑）、それがクセになるというか、私自身、好きな山小屋には何回も行きまわすし、そういう人とのつながりはすごく重要だと思います。

【伊藤】ジオパーク検定も多くの方が受験されて、糸魚川に詳しくなられているんですね。地元のいいところをよその人に伝えるよこびというのがありますよね。速水さんはそういう解説をすることはありますか？

【速水】はい。自然を解説することもあります。

【伊藤】何かコツがあったら皆さんに。

【速水】むしろ私が教えてほしいくらいなのですが（笑）。皆さん自分の言葉でしゃべられるのがすごくいいなあと、いつも思っていますし、そういう人とふれることで記憶に残る旅になるのかなと思います。

7. ジオパークののびしろ

【鳥越】ジオパークはまだまだのびしろがあると思います。糸魚川は日本の中でも先頭を切って頑張っているところなので、これからもっと日本中や世界に発信していく余地があります。ジオパーク関係のことは何でも新しいことなので、自由な発想ができますし、可能性もあるし、夢があるなあと思っています。

【伊藤】ジオパークって、認知度は高くなってきましたが、一般的にはまだこれからだとは思ってますよね。

【都竹】私も誤解をしていたのですが、ジオパークというと地質や石ばかりに意識が行ってしまうのですが、そこに住む人の生活や文化すべてを含めてジオパークとっていいんだということ、最近勉強しました。それを踏まえると、昨日も明かりをホテルからずっと見ていたのですが、私はセメント工場がかっこいいと思います。

【伊藤】工場萌えというやつですね。工場萌えは女子が多いらしいですね。

【都竹】横浜なんかですと、川崎の工業地帯をクルーズするプランもあるんですよ。

【伊藤】石灰岩もこんなに白くてきれいなものが採れるのは、なかなかないらしいですね。赤道あたりのサンゴの死がいなどでできているものが、長年かけてここにたどり着いているようで、私たちの知っている歴史なんてほんの少して、その前にはなんて長い悠久の時代があったんだろうと思います。糸魚川に来るとスケール感が大きくなるのを感じます。

あとジオパークでよかったのは、いろんなところとのネットワークができて、いろんなお友達ができたことですね。例えば香港のジオパークに子どもたちが行ったり、香港から来てくれたり、そういう交流ができるという点はすばらしいと思います。

8. ニコラさんの電話出演

【伊藤】こんにちは、伊藤です。ニュージーランドから、どんなきっかけで隠岐へ来られたんですか？

【ニコラ】初めて来たのは国際交流ですが、3年前に隠岐に来た時は観光協会の職員になったからです。

【伊藤】実際に隠岐に住んでみて、隠岐の魅力はどんなところですか？





【ニコラ】 隠岐はとってもきれいな島で、人と文化がすごくおもしろくて、食べ物のもすごくおいしいです。海の幸と山の幸、両方あります。

【伊藤】 海の幸は何がおすすですか？

【ニコラ】 今の時期は魚がとってもおいしくて、鍋がおいしいです。

【伊藤】 隠岐は今年選ばれましたが、糸魚川を見てジオパークを目指そうということになったのでしょうか？

【ニコラ】 そうですね。糸魚川は先輩のジオパークで、いろいろと上手くやっているといます。

【伊藤】 糸魚川のジオパークで、どこに行ってみたいと思いますか？

【ニコラ】 フォッサマグナミュージアムに行ったら糸魚川ジオパークのストーリーがわかるかなと思っています。あと自然が好きだから、山、海、川を冒険したいなと。

【伊藤】 冬の糸魚川もいいのですが、5月くらいになって、緑がたくさん出てきた時はすごくきれいなので、その頃にぜひいらしてください。

【ニコラ】 ぜひ勉強に行きたいと思います。

【伊藤】 私たちも隠岐の方に出かける機会があったらよろしくをお願いします。

【ニコラ】 隠岐は本当にいいところなので、いつでもいらしてください。お待ちしております。

9. ジオ女子目線で世界へ

【鳥越】 皆さん、登山はされますか。山に行くと、見たことのない景色が広がっています。自分のペースで無理せずに登っていけば苦しいことはありませんし、登りきった時には達成感がすごいです。あと何より、山の上で食べるものはおいしいです。ぜひ、山は怖いものだ・しんどいものだとは思わずに、低い山からでいいので、紅葉や森林を楽しみながら、もっと登りましょう。

【都竹】 私も山へのすすめを少しだけ。山の名前や、その山にまつわるエピソードから入ってみるとおもしろいと思います。飛騨高山に双六岳という、神様がすごくをして物事をきめたと伝わる山があります。「じゃあ、そこへ行って神様と同じことをやろう」と思い、実際に

双六岳の山頂ですごろくをして来ました（笑）。山に登るということだけでなく、違うところに目標を置いて登ってみると意外と楽しく行けるかもしれないと思います。



双六岳山頂のすごろく

【速水】 初めて登った山は、石川県にある白山です。そこで朝日と、目の下に雲が流れる景色を初めて見て感動しました。山頂を目指したり自然観察を楽しんだり、山登りの楽しみ方は人それぞれ違うので、そんなにたくさん考えずに、足をのばしていただければと思います。全国には30の国立公園がありますが、同じ特徴を持ったものはありません。例えば糸魚川にある中部山岳と上信越の国立公園も全然特徴が違いますし、少し足をのばせば尾瀬もまた違う特徴があるので、ぜひ足を運んでください。また、地元で愛していただける国立公園を目指したいので、ジオパークの良いところを学んでいきたいと思っています。

【伊藤】 最近、山ガールが増えてはきましたが、でもやはりハードルというものがあると思うんですね。たくさんの人に来てもらうには、いかに女性に来てもらうかということが大切だと思います。女性がどんな風にしたら楽しく山登りができるかを考えて、そして地元の女性たちにまず山を楽しく登っていただいて、その楽しさをガイドの方に伝えていく、そういうことが必要かなと思います。糸魚川は再認定もされて、まだまだのびしろがたくさんある世界ジオパークですので、ぜひ皆さん一丸となって糸魚川を盛り上げて、世界の糸魚川ジオパークにしていきたいと思います。



■閉会あいさつ 糸魚川ジオパーク協議会副会長 久保 雄

今日は足元の悪い中、こんなに大勢の方からお集まりいただきまして、本当にありがとうございました。

糸魚川は情報の発信に力を入れておりまして、このおかげで大分有名になってきたなという風に認識しております。糸魚川ジオパークはブログやフェイスブックの発信もしておりますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

今日のお話ですが、女子パワーというものはずいなおと思いました。いろいろ見方が変われば考え方も変わってくるものですね。私、びっくりしましたのは、大和朝廷が糸魚川のヒスイをやめさせるために来た話。これはいいですね。おかげさまで今、糸魚川にヒスイが残っているんです。また、雨飾山の奴奈川姫の横顔の話は、はじめて聞きました。やはり女子の見る目は違うなあと思いま

した。また、親不知は見方をいろいろと考えられるともお話しいただきました。蓮華温泉も女性が入れるようにしなければなりませんし、随分ヒントを得られました。本当に皆さん、ありがとうございました。また、司会をしていただきましたジオパーク大使の伊藤聡子さん、本当にありがとうございました。

今後とも、糸魚川ジオパークをますます発展させるために応援していただきたいと思います。



THEおいしい朝ごはん ジオ給食試食会

夏に募集した『THEおいしい朝ごはんコンクール』受賞レシピの給食を試食できるコーナー。当日は、糸魚川世界ジオパークの大地で育った米や野菜などの食材による特別メニューが用意されました。



南能生小学校
**ハンオイル
 ブレックファースト**



MENU

- ・わかめとたまごのごはん
- ・鮭のキャベツ蒸し
- ・塩こんぶあえ
- ・とうがんとコーンのみそ汁
- ・牛乳



▲会場は大盛況

▲順番に配膳してもらいます

▲出演者の皆さんも腹ごしらえ



ものづくり体験 のひろば

～学研教育出版協力～

●カラー砂で地層を作ろう



カラー砂を瓶に入れて、地層アクセサリを作りました。

●砂を観察しよう



顕微鏡で日本・世界各地の石を観察！観察した砂は、かわいいケースに入れてお持ち帰り。



●石から絵の具を作ろう



柔らかい石を砕いて絵の具を作るコーナー。作った絵の具で、ジオの？なお絵かき。

日本のジオパークも紹介!!

全国各地のジオパークを紹介しました。



糸魚川小学校 5年生の発表「ジオ給食について学んだこと」

総合的な学習の時間で「食」を通して、糸魚川の活性化のために糸魚川世界ジオパークの特産物を使った新しいメニューを開発し、地域に発信しようという活動。5月には根知地区での米作りに挑戦。6月には地元の味噌屋さんの協力で味噌の仕込みを行いました。9月には稲刈り。夏休みと二学期にジオの特産物を使ったメニューの開発をしました。



▲みんなで考えたメニューを発表しました



ジオ女子たちのワールドワイドな
ジオ端トーク
 ～ジオパークと自然公園の楽しみ方～

